



NEWSLETTER

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒390 長野県松本市横田3-10-14 TEL&FAX：0263-39-1583

発行：深井穂博 編集：平居夕紀子 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

日本モンゴル文化経済交流協会
歯科交流グループ 黒田耕平

日本モンゴル文化経済交流協会の
歯科交流グループの活動をご紹介します。

我々の歯科医療協力は一九九一年
に始まりました。活動当初、政治体
制の移行期であり、担当者が引継ぎ
もなく変わってしまうということが
何度もあったため、一九九四年に日
本から機材等を提供し、民間の歯科
診療所「エネレル」を設立しました。
エネレルはモンゴルの人達によって
運営を行い歯科における先駆的な情
報発信基地となることを目的に設立
されました。設立以降我々の活動も
ここを拠点に行っています。

私たちの活動は春と夏の二回、一
週間程度という短い期間の中で首都
及び地方での歯科疾患実態調査、保
健指導や技術指導など多くの活動を
行っています。(昨年九月の活動は八
日間、二十一名にて行いました)ま
た定期的にエネレルのスタッフに
来日してもらい、日本の医療機関な
どで研修を行っています。

モンゴルでは若年層の歯科疾患が
急増していますが、歯科治療に必要
な機材や技術は不足しています。こ

れまで治療技術や予防の重要性と技
術を伝えることが活動の目的でし
たが、エネレルではう蝕予防を目的と
した小児リコールにも取り組んでい
ます。GC社から提供していただい
たフジⅢによる充填をスタッフに指
導したところ、リコール患者の罹患
率が顕著に低下しました。

このような効果の高い技術や材料
をセミナーやテレビを通じて紹介し
たり、また、貧困者に対する無償の
医療サービスを行ったりしています。

エネレルのスタッフが治療や予防
に関する技術と重要性を理解し、そ
れを社会に発信しようとする姿勢を
得た事は何にも代えがたい成果です。
今後はモンゴル全国で同一基準の検
診とその評価をエネレルを中心に五
年計画で実施する予定です。

我々の活動ではモンゴルの歯科医
療関係者が中心であり、原則として
日本人は治療行為を行わず協力する
のみです。モンゴル人自身の手でモ
ンゴル国民の口腔全身の健康を維持
増進することが我々の目標です。今
後我々とモンゴルとの関係は「協力
するものとされるもの」から「それ
ぞれの国で同じ目的を共有する良き
パートナー」となるのではないでしょ
うか。

JAICOH NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されております

11か国語対訳
歯科診療会話集

吉田けい子

1ページ1会話文とし、約370の会話表現に「英語」「インドネシア語」「中国語」「ポルトガル語」「タイ語」「韓国語」「アラビア語」「スペイン語」「ベンガル語」「ミャンマー語」「シハラ語」の訳をつけました。

●A5判414P ●定価(本体3,000円+税) ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8073

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」
使いたくなる
ホームケア歯ブラシ

「ホームケア」歯ブラシ
株式会社 永山
TEL 0120-118418
FAX 0120-648581

はじめての
コンポジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニファルF ■長期的なフッ素の徐放。
■ビタシェード9色+A3G、CV。

ユニファルボンD
■混和不要、簡便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフルーダイヤル TEL 0120-416480

ミャンマーにおける歯科保健協力

—歯科疾患実態調査の可能性をもとめて—

東京歯科大学 衛生学講座 眞木吉信

ミャンマーの六月は雨季の真っ只中で、一日に一回はシャワーのような豪雨に見まわれるのが日常である。

今回の目的は、ボランティア郵便貯金からの援助を受けてJAICOHが行う、次のような内容であった。

◇巡回診療器材の贈呈

◇巡回診療への参加と視察

◇作成したブックレットの領収書の受け取り

◇二年間に渡る歯科保健活動の評価

◇今後のミャンマーと日本の歯科保健協力活動の討議

しかしながら、その根底には協力の活動の当初から、ミャンマーにおける国家レベルの歯科疾患実態調査の必要性が念頭にあり、この調査を実施するために二年前に構成された計画委員会と作業委員会の開催と実質的な討議が主たる目的であった。この国家レベルの調査については、昨年すでにIDMヤンゴン大学(歯学部)における歯科検診時のキャリアブレーションに関する研修会とヤンゴン市郊外での予備調査は終了しており、次は具体的に実態調査の対象地区を

選択することと開始の時期を決定することが最重要課題であった。今回、計画委と作業委の合同委員会は開催でき、対象地区の選定手段までは何とかこぎつけたが、開始時期の決定までには至らなかった。この要因としては次の事項が挙げられる。

①次年度からの予算確保の困難性

ボランティア郵便貯金からの援助が無くなり、JAICOH単独の事業となる

②委員会を構成する保健省、歯科医師会および歯学部との関係に問題がある

③どの立場にも調査に対する積極的な意志が感じられない

メンバーの一人一人は人間的にも学術的にも優れた人ばかりであるが、集団としては今ひとつコンセンサスが得られない問題がある

この夏にはDr.MayMayKyang(保健省)が新潟大学歯学部で三ヶ月間予防歯科の研究を始めており、また、昨年は第二の都市マンダレーに二つの歯学部ができたことも含めて今後への期待は大きく、国の口腔保健の実態を把握した教育と研究とそして臨床が望まれるところである。JAICOHとしてはこの調査を早期に実現するためにどのような手段をとるべきか熟慮する必要がある。

ドイツ通信 (六月二十一日—三〇日)

田中健一

さる六月に、ドイツ日本人学校にて「歯科健康教育」を実施してきました。このプロジェクトは、労働省が実施している「医療不安がある地域に在住する邦人の健康相談」事業に私が九六年に参加したことに派生しています。医療先進国と見られていたドイツも歯科医療の内情は厳しいのです。東西統合の感動から十年を経過した今、西の疲労感はいたるどころで感じます。失業率、人種的排斥などなど。

そのような状況の中私が昨年当地で医療制度調査に参画したのが縁で、日本人学校にて、児童を対象にした歯科健康教育ならびに保護者を対象にした健康相談が実施されました。小学校での歯科健康教育では、通常の歯科医療に従事しているだけでは得られない経験ができます。

例えば、個人相談の時に、三、五年生と思いき女の子が「先生のように海外で人々の役に立つ仕事は、どうしたらできるのですか?」と質問してきました。私はひとしきり悩んだ後、こう答えました。「誰とでもお話ができ、お友達になれ

るようになり、困っている人の為に働ける人になってください。まだまだ、その日の食べるものも無い人が世界には多いのです」

これを日先生に話すと「はたしてこの仕事が督められたものだろうか、さらにはそんなに良い仕事なのだろうか」といわれました。

我々はこのプロジェクトを通じて、国内には無い出会いと、貴重な生の話を聞くことができます。しかし、一つ皮をむくと採算面の収支はプラス・マイナスゼロ。また、相手の意向を常に気にかけるながらこちらの出方を決めなければならぬ(時期も時間もこちらの自由ではない)。さらに、国内の仕事を休んで、海外の事を行なわなければならない困難さです。だから他の医療人が、日本人学校での健康教育の必要性を認めつつも、積極的に関与すること無く、頼まれれば手伝うという姿勢になりがちなのもわかるのです。積極的に働きかけて、歯科健康教育の良さを認識してもらおう、この活動にはらう時間と費用と労力は膨大です。それでいて得られるものがあるかどうかもわからない。このような中でもやっけて行けるのは私も日先生も、やはり人間が「好きだから」でしょうか。

八月三日(木)から八月五日(土)の期間、長崎大学・坂本キャンパス内にて標記学会が「新たなチャレンジ・成長の限界をどう超えるか」をテーマに開催されました。

長崎は江戸時代の鎖国体制下において、西洋医学をはじめとする西洋文明に開かれた唯一の窓口です。また八月九日は、五十五年前に人類史上二番目の原子爆弾が投下された日であることから、この時期に本学会が長崎で開催されたことは意義深いものと感じました。

基調講演として、大木昌先生(明治学院大学国際学部)による「パラダイム・シフト..保健医療における総合的アプローチをめざして」が行われ、植民地期インドネシアの経験した援助する側の理論の方が、される側の要請よりも優先していた苦い経験を元に保健医療も、まず現地の人々が何を望んでいるか、という点から出発すべきとのことでした。

一般講演は、①医療協力・保健政策・保健計画 ②母子保健・人口・リプロダクティブヘルス ③エイズ

④栄養・健康・予防 ④地域保健・プライマリーヘルスケア ⑤感染症 ⑥旅行医学 ⑦看護 ⑧研修・教育・技術移転 ⑨その他の分野、に分かれて各種発表が行われました。

「ネパール歯科医療協力会」からはネパールにおける歯科保健医療活動について六題の発表がありました。

ポスターセッションではIAIC OHからミャンマーにおける口腔保健活動について発表がありました。

また、歯科関係では以下のように、各種発表が行われました。主なものの演題と発表者を紹介します。

「カンボジア人中学生への口腔活動」
鈴木基之、長谷川敏司(昭和大学医学部歯周治療学教室)

「スリランカ・ペラテニヤ大学歯学教育プロジェクトにおける口腔癌手術の技術移転・第二報」
川口浩司、佐藤淳一、瀬戸院一(鶴見大学歯学部口腔外科第一講座) 半田裕二郎(国際協力事業団)

「東京の在日外国人における口腔内の状況と問題点」
中久木康一(東京医科歯科大学、国際保健協力市民の会・SHARE)

大脇甲哉、沢田貴志、金沢貞子、仁科晴弘、本田徹(SHARE)

自由集会では、「臓器移植がアジア

諸国の生活文化へ及ぼす影響について」「国際緊急援助の質の向上に向けて」など各種の発表が行われ、白熱した議論は夜九時まで続きました。

役員会報告

会長が深井先生に交代して初めての役員会が、平成十二年七月二十日、東京医科歯科大学にて開催されました。今回、以下のような内容が検討されましたので報告します。

〈ニューズレター〉
メディアの特性を有効に活用するために、ニューズレターの掲載方法をどうするかということも話題に上がりました。

〈シーズプロジェクト〉
今年度も実行することに決定しました。予算は三〇万円で、助成団体はIAICOHの会員が所属する団体とし、助成団体は次年度の総会にて発表します。

〈事務局〉
今年度中の事務局機能は現行のままですが、対外的な活動を考慮すると、東京への移転も視野に入れ検討してゆきます。また大学内に事務局

がある方がいいのでは、などの意見も出ました。

〈役員会〉

開催回数は年に四回とし、会員に議事内容をオープンにするためにも役員会と研修会とを同時に開催することを今後検討します。

初めて参加した役員も多く、新役員紹介からはじまり、各団体代表者同士の交流、IAICOHのこれまで行ってきた活動の整理・報告という今回の最大の目的は達成されました。

今後の活動に期待してください。会員の皆様のご協力、よろしくお願ひします。



改選された役員一同
深井稜博会長(前列中央)を中心に

二〇〇〇年度JAI COH助成事業
第二回シーズプロジェクト

応募要項

◆助成の趣旨

本会では一九九八年度より、会員が主体となって各地で行なう事業に対して助成を行なうシーズプロジェクト制度を実施しております。今年度も下記の要項にて公募いたしますので多くの方のご応募をお待ちします。助成金額の総額は三〇万円、現在歯科保健医療分野での国際協力活動に積極的に携わっておられる方々、及びこれから携わろうとされる皆さんの積極的な応募をお待ちしております。

一、主催：JAI COH

二、応募申請者の資格と条件

左記公募テーマについて活動を行っていている（あるいは行う予定の）会員個人または会員が所属する団体とします。応募申請事業の主催者（主催団体）は問いません。

三、公募の事業内容

歯科保健医療分野の国際協力に関する事業。実施場所は、国内および国外いずれでも結構です。事業実施期間は二〇〇一年四月から二〇〇二年三月までの一年間とします。ただ

し応募の時点ですでに事業が開始されていてもかまいません。

四、応募の方法

所定の申請書をご請求いただき、応募して下さい。提出用紙には捺印して下さい。

五、応募の締切日（期日必着）

二〇〇〇年一月十五日（日）

六、選考基準

- ・事業が独創的であること
- ・会員への啓発や各個の活動の参考になり、会員に還元できる内容であること
- ・実施期間内にある程度成果のあがる事業であること
- ・選考結果の発表

七、選考結果の発表

二〇〇〇年十一月下旬本人宛書状で通知します。応募資料その他の返却は行ないません。

八、助成の金額

総額三〇万円 一件あたりの助成額は五万～一〇万円程度とし、二〇〇一年三月に贈呈式を行ないます。

九、事業成果の報告

助成決定者は、事業の結果を所定の様式で二〇〇二年三月までに提出していただきます。また、事業内容についてはシーズプロジェクト二〇〇一報告会（二〇〇一年六月開催予定）などで発表していただきます。

一〇、応募申請書の請求先と提出先
 〒一八九〇〇〇二
 東京都東村山市青葉町四一―一
 国立療養所多磨全生園内

JAI COH 宇野公男

電話 〇四二―三九五―一〇〇一

JAI COHフォーラム二〇〇〇
 開催のお知らせ

JAI COHは今年で設立一〇年目を迎えました。わが国での途上国で口腔保健の分野で活動されている人々の交流を図ることを中心に活動しています。今年度は会長以下役員も改選されました。そこで今回新役員紹介を兼ね、国際保健に関心のある人々との交流を目的とした「JAI COHフォーラム二〇〇〇」を開催します。このフォーラムを通じて、志を同じくする人々が手をつなぐ「新たな一歩」となれば幸いです。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時：十一月十二日（日）

午後一：〇〇～四：三〇

場所：ホテルパシフィック（東京・港区高輪）二階エルベンスホール
 問い合わせ先：深井 穂博

〒埼玉原三郷市彦成三三八六
 電話/FAX：〇四八九―五七一―三三三五

JAI COH NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されておりま

NSK ナカニシの
 ハンドピースは、
 世界中の先生方に
 愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
 〒322-8666 栃木県鹿沼市上日向340

株式会社 松風

SHOFU

時代のニーズに答えるビデオ！
口腔介護の実践（全3巻）

I. 訪問歯科診療
 口から食べるための支援
 口腔介護とリハビリテーション
 （歯科医師向け/26分）

II. 歯科衛生士の訪問口腔ケア
 要介護者のQOLの向上を目指して
 （歯科衛生士向け/27分）

III. 介護者の口腔ケアのポイント
 美味しく楽しく食べられるために
 （介護者向け/25分）

在宅口腔ケアの実践とそのポイントを3巻構成でわかりやすく解説。
 ★各巻定価15,750円（税込）★3巻セット定価42,000円（税込）

Dy 株式会社 デンタルタイムソフト社
 〒113-2033 東京都文京区千石4-18-15 5F TEL: 03-3814-9101 FAX: 03-3814-8155